

# 「一村一エネ」事業の報告

## 【一村一エネ事業とは】

国の助成金により地域の特色を活かした省エネ・新エネを推進する取組で、市町村と企業、団体、NPO法人等の地域の多様な主体が協働・連携して取りくむ事業です。

経済性、地域経済活性化等についても定量的・具体的な効果が見込まれます。

平成27年10月より「一村一エネ」事業（支笏湖環境負荷低減推進事業）として自家発電機のラジエーターの熱を回収しボイラーの貯湯温度を上げ、ボイラーの燃焼時間を減少させA重油の使用量を削減させる事に取り組みました。

また、全客室・売店・厨房の照明器具をLED化し消費電力の削減にも取り組みました。

このようにCO2を削減する事により国立公園内の環境保護に努め、支笏湖全体の魅力向上を図り地域経済の活性化に寄与して参ります。

## 10月～12月の3ヶ月の数値実績比較

### 1、ボイラー燃料使用量

単位 ㍉

	10月	11月	12月
平成21年～26年（平均値）	8,927	11,926	15,670
平成27年	7,791	9,808	14,103
使用量の差	- 1,136	- 2,118	- 1,567
CO2削減量（t）	3.08	5.74	4.25

### 2、電気使用量

単位 KWh

	10月	11月	12月
平成21年～26年（平均値）	65,207	63,625	68,877
平成27年	59,939	55,546	59,851
使用量の差	- 5,268	- 8,079	- 9,026
CO2削減量（t）	3.59	5.52	6.16